

笑顔あふれる未来に向けて

前山 真希さん

会社名：グローバルビジネスソリューション株式会社

役 職：代表取締役

資 格：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

養成講座を受ける1年半前くらいでしょうか。IT企業の代表になる決意をしたときから「社員が真の笑顔でいるからこそ、より良きサービスがお客様に提供できる、そういう会社にしていこう」という強い意志がありました。以来、企業理念を見直し、ブランディングを行い、人事評価制度の改善など改革のための施策を打ってまいりました。そのなかのひとつがキャリアプラン施策を行うことでした。偶々日本産業カウンセラー協会関東支部のFさんとお会いする機会があり「キャリアプランを考えていくなら、言葉になかなか現れてこないような、心の奥の世界を配慮しなければ」という話を聞き、目から鱗の瞬間でした。

そもそも私自身もメンタルを患った経験があります。だからこそ「人に寄り添い自律的に生きていけるよう支援する」ことを人生のミッションと考えて、代表になる前から、社内で心身の健康状態を維持し生き生きと前向きに働く活動を行ってきました。しかし、このFさんの言葉で改めて心のケアが大切であることに気づかされたのです。交わされる言葉も行動も、さまざまな施策は、海の上に現れている氷山のようなもので、水面下にある認識できない部分へのケアこそが大切になってくる。経営者自身が人の心分かちあわずして、良き経営ができるはずもないと考え、産業カウンセラー養成講座を受講することにしました。

【受講後の活動状況】

受講開始後から感激と学びの連続でした。机上ではなく傾聴を体験して身に付けていくのが養成講座の要となりますので、知識を会得するだけにとどまりません。実技のなかで技術が身に付き、講座のなかで傾聴し合う仲間との絆もうまれました。また、自己理解も深まりました。幼少期の体験、メンタルを病んだこと、モラハラで苦しんだこと、そうした過去を経て自己に発生している癖、自分の特性の理解が進み、自己課題がはっきりと見え取り組めるようになりました。

現在は、産業カウンセラーの資格も取得でき、学んだ知識や経験を経営の土台として実践活用し、会社の風土のなかに傾聴を通じ人の心に寄り添うあたたかさを根付かせていっています。また現在では協会で行っている「傾聴力向上研修」にマネジメントを担当する社員が参加させていただき、社内には傾聴マネジメントができる社員が増えていっています。会社経営を行うなかで学ぶべきことは数あれど、私にとって何よりも大切なのは人です。人の心に寄り添える会社をつくるのが最重要事項であり、その基盤を学ばせていただいたことを協会の皆様に心から感謝しています。これからも笑顔の社員が、そのご家族やお客様を笑顔にし、ひいては社会に笑顔が広がっていく、そうした会社づくりに邁進してまいります。